

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

研究開発課題名 Intrahepatic persistence of hepatitis A virus post
viremia and fecal shedding
研究開発機関名 国立感染症研究所
研究開発代表者名 結城 明香

指摘事項

● 評価できる点

A型肝炎ウイルス（HAV）の排除機構及び肝臓での感染維持機構を、マウスモデルを用いて明らかにした。HAVは世界的に急性肝炎の主な原因の一つであり、糞便中と肝臓内でのHAV動態の理解は、アウトブレイクへの対策を検討する際にも重要な成果として評価できる。

● 疑問点、改善すべき点

T細胞が肝臓内に持続するHAV RNA複製や病態再燃の制御に必須ではないことを明らかにしたものの、病態再燃の克服に有用な情報であるかは明確ではない。今後、肝臓内にHAV RNAが持続する分子機構のさらなる解明を期待する。

以上